

津市応急救護センターの設置及び運営に関する要綱

平成22年1月8日訓第1号

(目的)

第1条 この要綱は、国の作成する新型インフルエンザ対策行動計画における第三段階（入院治療は重症患者を対象とし、それ以外の患者に対しては在宅での療養を要請する状態をいう。以下同じ。）において新型インフルエンザに感染し、その症状が軽症と診断された65歳以上の一人暮らし高齢者等を一時的に静養させる施設（以下「応急救護センター」という。）を設置し、当該高齢者等の生活の不安を解消し、精神的及び身体的な支援を図ることを目的とする。

(設置場所)

第2条 応急救護センターは、次の公共施設等に設置する。

- (1) 津市北部市民センター
- (2) 津市西部市民センター
- (3) その他市長が特に必要があると認める公共施設等

(事業内容)

第3条 応急救護センターにおいて実施する事業は、次のとおりとする。

- (1) 応急救護センターを利用する者（以下「利用者」という。）を宿泊させること。
- (2) 医師による巡回訪問を行うこと。
- (3) 利用者に食事、寝具その他日常生活用品の提供等を行うこと。
- (4) その他市長が必要と認めること。

2 医師による巡回訪問においては、利用者の健康状態の確認及びケア並びに療養上の注意及び指導を徹底し、状態が重症化した場合は、速やかに医療機関への紹介を行うものとする。

3 市長は、利用者の状況を把握するため、利用者の住所及び氏名並びに提供したサービス内容等を記録しておくものとする。

(開設時期及び閉設時期)

第4条 応急救護センターは、本市の区域内が国の作成する新型インフルエンザ対策行動計画における第三段階に移行し、感染者が医療関係機関に殺到し、当該医療関係機関が混乱を来している状況下において、医師会等関係機関と

相談し、市長が必要と認めるときに開設する。

- 2 応急救護センターは、本市の区域内における新型インフルエンザのまん延が沈静化し、医師会等関係機関と相談し、市長が特に開設の必要がないと認めるときに閉設する。

(利用対象者)

第5条 応急救護センターを利用することができる者（以下「利用対象者」という。）は、本市の区域内に住所を有する65歳以上の一人暮らし高齢者及びそれに準ずる者であって、次の各号のいずれにも該当するものとする。

- (1) 発熱外来又は医療機関等で新型インフルエンザの軽症患者と診断され、自宅療養を要請されたもの
- (2) 介護保険法（平成9年法律第123号。以下「法」という。）の規定による介護サービス等を利用しない者のうち食事の摂取等、自宅での療養に不安があり、見守りが必要なもの
- (3) 基礎疾患のないもの

- 2 前項に定めるもののほか、市長は特に必要があると認める者を利用対象者とすることができる。

(利用の申出等)

第6条 応急救護センターを利用しようとする者等は、津市応急救護センター利用申請書（別記様式）により、市長に申請しなければならない。

- 2 市長は、前項の規定による申請があったときは、速やかに審査し、利用の可否を決定するものとする。

(遵守事項)

第7条 利用者は、応急救護センターを利用するに当たり、次に掲げる事項を守るものとする。

- (1) 許可なくして所定の場所以外へ立ち入らないこと。
- (2) 許可なくして所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (3) 飲酒をしないこと。
- (4) 他人に危害及び迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (5) その他管理上必要な指示に従うこと。

(利用の中止)

第8条 市長は、利用者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、当該利用者の利用を中止させるものとする。この場合において、利用者は、速

やかに応急救護センターを退去しなければならない。

- (1) 状態が軽症化又は重症化し、第5条の規定に該当しなくなったとき。
- (2) 前条で定める遵守事項を守らないとき。
- (3) その他管理上支障があると認められるとき。

2 医療機関での入院治療が必要となった利用者については、入院措置を行った上で、利用の中止を行うものとする。

(経費の負担)

第9条 利用者は、食事、医療費等に係る実費相当額を負担するものとする。

(損害賠償の義務)

第10条 利用者が故意又は過失により施設、設備器具等を損傷し、又は滅失したときは、市長の定める額を賠償しなければならない。

(委任)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この訓は、平成22年1月8日から施行する。

別記様式（第6条関係）

津市応急救護センター利用申請書

年 月 日

（あて先）津市長

（〒 ）

住 所

申請者 氏 名

印

利用者との続柄

電 話

次のとおり津市応急救護センターを利用したいので、申請します。

利 用 者	住 所					
	(ふりがな) 氏 名		性別	男 ・ 女	生年月日	・ ・
身 体 状 況	体 温					
	疾 病	有（疾病名）				・無
	身 体 障 害	有（種 級）				・無
受 診 した 医 療 機 関	医 療 機 関 名					
	主 治 医					
	受 診 日	年 月 日				
家 族 状 況	氏 名	住 所	続 柄	同 居 別 居	連 絡 先	
					()	
					()	
					()	
備 考						

(注) 押印は、氏名を自署する場合は、省略できます。